

令和3年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	EKOTTO プロジェクトチーム
事業名	江古田に行こっと！子育て応援タウン！ ～EKOTTO プロジェクト～

1 令和4年度の事業継続

[(可) ・ 不可] とする

2 令和3年度の実績

[活動実績]

- ①日本大学芸術学部とコラボしたプロジェクト動画の作成
- ②学習支援「もくもく勉強会」の開催 開催回数：35回 参加人数：延 157人
- ③江古田パパママミーティングの開催 開催回数：3回 参加組数：10組
- ④江古田子育て応援店 MAP（フリーペーパー）の発行 発行部数 5,000部
- ⑤子育て世帯を対象としたアンケートの実施 回答：29件

[賛同者・協力者]

- ①Instagram フォロワー 130人 ※前年度比 117人増
- ②江古田子育て応援店 協力店舗 33店舗 ※前年度比 30店舗増
- ③協力地域団体（町会自治会、商店会、地域活動団体など） 24団体

3 令和3年度の評価

新型コロナウイルス感染症拡大の影響がある中であっても、着実に子育て応援店を増やし、町会・自治会や商店会をはじめ、地域でのネットワークを広げている点は評価できます。

3年目の活動にあたっては、まず改めて事業のターゲットを明確にし、活動を整理することを心がけてください。

プロジェクトを進めていく上では、軌道に乗り始めた「子育て応援店」の取り組みを充実させることがポイントとなります。子育て応援店に参加する店舗と地域に住む子育て世帯の両方の視点に立って、制度のあり方を見直し、より良いものにすることができれば、登録店舗も増加し、子育て応援の街としての地域モデルとなることでしょう。そのためには、子育て応援店にとってのメリットを明確に提示すること、そして、利用する子育て世帯へわかりやすく情報発信をしていくことが重要です。

令和4年度は、区との協働期間の最後の1年となります。協働期間終了後も事業を継続していくためには、「もくもく勉強会」や「江古田パパママミーティング」に参加した子育て世帯を、協力者として巻き込んでいくことが必要です。例えば、子育て応援店の情報発信をしたり、ボランティアとして関わってもらったりなど、子育て世帯の力を地域に生かすことができれば、プロジェクト・子育て世帯・子育て応援店の三者にとって、良い関係を築くことができるでしょう。また、資金獲得の面に関しても、収支相償となる事業の検討等、自立した運営が可能になるように進めてください。

3年間の協働期間で地域にまいた種が、4年目以降も着実に育っていくよう、卒業に向けて体制づくりを進めてください。